

社会福祉法人 三扇福祉会  
**平成 27 年度 事業報告書**

・平成 27 年 5 月 22 日 **法人及び施設の内部監査**

内村 岩田 両監事による。

・平成 27 年 5 月 25 日 **理事会 開催**

議案 1 社会福祉法人 三扇福祉会平成 26 年度事業報告

議案 2 ソレイユ保育園平成 26 年度事業報告書

議案 3 社会福祉法人三扇福祉会平成 26 年度決算

議案 4 ソレイユ保育園平成 26 年度決算

議案 5 幼保連携型認定こども園ソレイユ平成 27 年度第一次補正予算

議案 6 諸規程の変更について

議案 7 施設整備計画について

議案 8 その他

・平成 27 年 5 月 26 日 **平成 26 年度**

**決算に基づく法人登記**

・平成 27 年 8 月 27 日 **理事会 開催**

議案 1 幼保連携型認定こども園ソレイユ乳児棟建設計画について

議案 2 幼保連携型認定こども園ソレイユ乳児棟建設工事入札参加者の選定について

・平成 27 年 9 月 24 日 **理事会 開催**

議案 1 幼保連携型認定こども園ソレイユ乳児棟建設工事入札結果について

・平成 27 年 11 月 18 日 **法人及び施設の内部監査**

内村 岩田 両監事による。

・平成 28 年 1 月 27 日 **理事会 開催**

議案 1 上半期仮決算の監事監査結果について

議案 2 社会福祉法人三扇福祉会平成 27 年度第一次補正予算

議案 3 認定こども園ソレイユ平成 27 年度第 2 次補正予算について

議案 4 任期満了に伴う法人役員の改選について

議案 5 認定こども園ソレイユ乳児棟完成について

議案 6 諸規程の変更について

議案 7 平成 27 年度宮崎市指導監査結果について

議案 8 諸契約について

・平成 28 年 3 月 24 日 **理事会 開催**

議案 1 社会福祉法人三扇福祉会平成 27 年度補正予算について

議案 2 認定こども園ソレイユ平成 27 年度第 3 次補正予算について

- 議案 3 社会福祉法人三扇福祉会平成 28 年度事業計画について
- 議案 4 社会福祉法人三扇福祉会平成 28 年度当初予算について
- 議案 5 認定こども園ソレイユ平成 28 年度事業計画について
- 議案 6 認定こども園ソレイユ平成 28 年度当初予算について
- 議案 7 平成 28 年度職員俸給について
- 議案 8 その他

・平成 28 年 3 月 27 日 **役員に関する登記**

## 平成27年度幼保連携型認定こども園ソレイユ事業報告書

### 1、概要

平成27年度は、保育所から幼保連携型認定こども園に移行し、地域の子育て家庭のニーズに幅広く対応できる基盤づくりの足掛けとなった。1号定員25名、2号3号定員120名でスタート、年間1号316人、2・3号1599人の利用数となった。また、乳児棟を増築したことにより育児休暇明けの入園の幅を広げることが可能となった。

### 2、児童の処遇

#### ア、健康管理

嘱託医による内科・歯科検診の実施

内科 5月 13・27日 12月 9・16日

歯科 6月 4日

園薬剤師による保健管理に関する技術及び指導の実施。(年9回)

蟯虫検査及び尿検査

県健康づくり協会に委託して実施

蟯虫検査 6月12日 10月8日

尿検査 6月12日

体育遊び・リズム遊び・園外保育を積極的に取り入れ、体位の増進に努めた。

週1回、ｽｰｯ教室の講師をよび、体位の増進に努めた。

身長・体重測定 毎月実施

畑に野菜の栽培や芋苗付け芋ほりを行い、食に対する関心を高めた。

#### イ、給食

市担当指導による献立表を基準に園独自のメニューも取り入れ、児童の栄養のバランスを考慮して美味しい食事を提供することに努めた。

児童の嗜好と栄養に留意し、美味しく、食べやすく、楽しめる調理に努めた。

月1回のお弁当の日をもうけ、両親の愛情に満ちた手作りのお弁当に親しむ機会を作った。

離乳食について、研究を行い、月齢に応じ家庭と連携をとりながら、ひとりひとりに合った献立を取り入れた。

食物アレルギーに対して、ひとりひとり除去食により対応、また、栄養士が職員に対してアレルギー対応についての助言を行う。

栄養士により、保護者への離乳食や食事の提供に関する助言や情報提供を行う。

季節の行事(お月見、もちつきなど)に園児も参加し、和食や伝統文化への関心を高めた。

栄養士により食育活動として、旬の食材について触れたり関心を高める機会を持った。

## ウ、保 育

### 日常生活の処遇

- 1、 担任保育士を中心に全職員が連携協調し、児童の年齢に応じてきめ細かなカリキュラムを作成し指導に当たった。また、未満児クラスでは、個別計画を立てて、指導に当たった。
- 2、 児童の豊かな感性を育むため、季節に応じた各種の行事を積極的に取り入れた。
- 3、 年間行事については、別添資料
- 4、 異文化交流として、外国人講師を月3回招き、児童の視野を広げた。
- 5、 他保育園や近隣の幼稚園との交流を行い親睦を深めた。
- 6、 仲良し広場を月1回開催。地域の親子に人形劇・園庭開放など行い、地域とのつながりを深めた。
- 7、 小学校との連携として、保育所児童保育要録を就学先の小学校へ送付した。
- 8、 近隣のデイサービスとの交流を年3回行い親睦を深めた。
- 9、 誕生会は、保護者にも参加を呼びかけ園全体で家庭的な中、お祝いする雰囲気が出た。

## エ、特別保育

### 1、障がい児保育

障がい児保育については、職員一同で連携して保育にあたり、本年度は、5名の児童を受入れた。

昨年に続き、県特別支援教育「支援をつなぐ」特別支援教育エリアサポート構築事業のモデル園の指定を受けて個別支援計画を保護者と共に立案した。

### 2、延長保育

今年度も午後8時までの延長保育を実施し、職員の負担を感じましたが、時差出勤、非常勤職員の配置、短大生のアルバイトによる夕方の加勢により保育士の労働の軽減を図った。

### 3、一時保育

今年度から、一般型（従来型）と幼稚園型が加わり、午後から勤務のパート職員を採用して対応した。

乳児棟を増築したことにより一般型については、専用クラスを設け対応にあたるできるようになった。

### 4、入所児童処遇職員の加配

今年度、継続雇用を行ないました。いままでの職務経験を活かして、子どもたちに温かく接し、給食の準備・後片付け円滑化が図られ、園舎・園庭が整備され、職場の雰囲気がなごやかな家庭的なものになりました。

## 3 職員の処遇

### オ、健康管理

職員の健康診断は、35歳以下は健康づくり協会に委託して受診し、35歳以上は、古賀病院にて成人病検診を受診しました。

腸内細菌検査は、県健康づくり協会や臨床宮崎に委託し毎月受診しました。

#### カ、労務管理

週の40時間を平均40.0時間、年変形労働時間制とし、非常勤職員を採用し労務の軽減を図りました。

#### キ、処遇

社会福祉法人 三扇福社会の給与規程に基づき、給与を支給し、昇給を実施した。

3名の臨時職員を正規職員への転換を図った。

処遇改善加算を資格手当・リーダー手当・一時金として支給した。

#### ク、研修

宮崎経営研究会4園とともに組織管理研修をおこなった。労働局の助成金を活用して園全体の職員の質の向上を図った。

#### ケ、職員会議

毎月1日、又必要に応じて職員会議を実施し、園の方針の徹底・意思の疎通・連携強化を図った。

### 4 施設管理

乳児棟増築、りす組トイレ改修工事、事務室改修工事、名板取り替え工事を行いました。

物品については、決算書の固定資産管理台帳の通りです。

### 5 会計

社会福祉法人新会計に移行し、通達により処理し、別紙決算書のとおりです。